



日時	3月1日(木)～3月2日(金)
場所	宮城県本吉郡南三陸町
参加人数	26名(男性23名、女性1名、事務局2名)

● 活動内容



初日は、南三陸町の公立志津川病院の向かいにあるショッピングセンターの室内で、瓦礫の分別と撤去作業を行いました。

南三陸町災害ボランティアセンターによれば、ショッピングセンターの中はほぼ津波の被害を受けたままの状態、瓦礫の撤去に着手したばかりとのことでした。現地に行くと、建物自体は残っているものの、室内には土砂や天井からの落下物など大型の瓦礫が多いうえ、商品(おもに食料品)の腐敗臭がしていました。かなりきつい作業でしたが、参加者は黙々と土砂や瓦礫類を分別し、建物の外に搬出する作業をこなしました。



2日目は、廻館地区の基礎のみが残った個人宅の跡地で、瓦礫の分別と撤去を行いました。

活動時間内に作業が終了したため、急遽、隣家の瓦礫撤去にも取り掛かりました。活動終了後に南三陸町災害ボランティアセンターのリーダーから「参加者の方々はまじめで意識が高い。また来て欲しい。」とのお言葉をいただきました。

今回の活動を終えた参加者からは、「かなりハードな作業でしたが、やりがいがあった。」との声が出ていました。